様式第二号(五)(第一条関係)

(表　　面)

<table>
<tr><td colspan="8">児童扶養手当障害認定診断書（呼吸器系結核以外の結核症・心肺機能障害及び高血圧症用）</td></tr>
<tr><td colspan="2">(ふりがな)
①　氏　　名</td><td colspan="2"></td><td colspan="2">②　生年月日</td><td colspan="2">大正
昭和
平成　　年　月　日
令和</td></tr>
<tr><td colspan="2">③　住　　所</td><td colspan="2"></td><td colspan="2">④　障害の原因となつた傷病名</td><td colspan="2">主要疾病
合併病</td></tr>
<tr><td colspan="2">⑤　傷病の原因又は誘因</td><td colspan="2"></td><td colspan="2">⑥　傷病発生年月日</td><td colspan="2">年　月　日</td></tr>
<tr><td colspan="2">⑦　④のためはじめて医師の診断を受けた日</td><td colspan="2">年　月　日</td><td colspan="2">⑧　将来再認定の要</td><td colspan="2">有　・　無</td></tr>
<tr><td colspan="2">⑨　既往症及び既存障害</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">初診から現在までの臨床的経過</td><td colspan="2">⑩　初診時所見</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td colspan="2">⑪　症状の経過</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td colspan="2">⑫　現在までの治療状況</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td rowspan="12">現症</td><td colspan="2">⑬　症状の概要</td><td colspan="3"></td><td colspan="3">⑮　レントゲン所見</td></tr>
<tr><td colspan="2">⑭　現在の主要所見</td><td colspan="3"></td><td colspan="3">令和　年　月　日撮影
(所見)</td></tr>
<tr><td rowspan="8">⑯　計測及び検査所見</td><td>身　長</td><td>cm</td><td>体　重</td><td>kg</td><td>胸　囲</td><td>cm</td></tr>
<tr><td>体　温</td><td>℃</td><td>脈　搏</td><td></td><td>呼　吸</td><td></td></tr>
<tr><td>肺活量</td><td>cc</td><td>動脈血酸素飽和度</td><td></td><td>血　圧</td><td></td></tr>
<tr><td>尿検査所見</td><td colspan="5">比重(　)蛋白－・±・＋(　c／00)沈渣所見(　)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">腎機能検査所見</td><td colspan="2">PSP</td><td colspan="3">血中残余窒素量　　mg／dl</td></tr>
<tr><td colspan="5">その他の腎機能検査所見</td></tr>
<tr><td>眼　底</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td>心電図所見</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td>その他の検査所見</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td colspan="2">⑰　予　　後</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td colspan="2">⑱　備　　考</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td colspan="8">上記のとおり診断します。　　令和　　年　　月　　日
病院又は診療所の名称
所　在　地
診療担当科名　　医師氏名</td></tr>
</table>

◎　裏面の注意をよく読んでから記入して下さい。診断書をもらおうとする人の障害の程度及び状態の認定に無関係な欄には記入する必要がありません。

◎　字は楷書ではつきりと書いて下さい。

裏　　面

注意

1　この診断書は、児童扶養手当の受給資格と手当の額を認定するための資料の一つです。この診断書は、児童の父又は母の障害の状態を証明するときにも、また児童の障害の状態を証明するときにも使用されますが、いずれの場合にも、記入事項に不明の点がありますと認定がおそくなることがありますので、くわしく記入して下さい。

2　○・×で答えられる欄は、該当するものを○でかこんで下さい。記入しきれない場合は、別に紙片をはりつけてそれに記入して下さい。

3　⑦の欄は、この診断書を作成するための診断日でなく、本人が障害の原因となつた傷病についてはじめて医師の診断を受けた日を記入して下さい。前に他の医師が診断している場合は、本人の申立てによつて記入して下さい。また、それが不明な場合には、その旨を記入して下さい。

4　⑫の欄には、人工透析療法を実施している場合は、この透析回数を記入して下さい。

5　⑮の欄には、添附されたエックス線写真についてその所見を記入して下さい。

6　⑯の欄には、循環機能、腎機能、眼底所見等の所見を得るに必要な検査を行ない、その結果を記入して下さい。ただし、人工透析療法を実施している者の腎機能検査成績は、当該療法実施前の成績により記入して下さい。PSP(フェノール・スルフォンフタレイン試験)欄には、色素初発時間並びに1時間及び2時間色素排泄量(%)を記入して下さい。心電図所見欄には、誘導の種類(肢誘導、胸部誘導)及びその所見を記入して下さい。